

1. 件 名：原子燃料工業株式会社による核燃料輸送物設計承認申請（Traveler XL型）に係る面談（2）

2. 日 時：令和2年9月9日（水）10時50分～12時00分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

東管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査専門職、田口係員

原子燃料工業株式会社

エンジニアリング事業部 エンジニアリングサービス部

プラント・サイクル技術グループ 参事 他3名※

5. 要 旨：

原子燃料工業株式会社（以下「事業者」という。）から令和2年7月27日付けで申請のあった、Traveler XL型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請について、以下のとおり面談を行った。

（1）事業者から、資料1に基づき、模擬燃料集合体の代表性の説明があった。

（2）原子力規制庁から、以下の点について説明を求めた。

① 模擬燃料集合体の落下時の亀裂の発生について、同集合体の構造も含めどのように発生するのか説明すること。

② 実際に収納される燃料集合体では亀裂が発生しないとしていることについて、模擬燃料集合体との構造の違いが上記の亀裂の発生にどのように影響するのかを明らかにした上で説明すること。

（3）事業者から、改めて説明する旨の回答があった。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 核燃料輸送物設計承認申請（Traveler XL型）に係る審査会合での指摘事項の回答について

資料2 模擬燃料集合体の代表性についての検討

以上